

# 平成 26 年度全国高専教育フォーラム参加報告

## 1. 参加目的

教育研究の成果発表を行い、他高専での教育方法や事例について情報収集を行う。

## 2. 開催要項

主 催：独立行政法人国立高等専門学校機構（主幹校：石川工業高等専門学校）

会 場：金沢市アートホール、国立大学法人金沢大学(角間キャンパス)

期 日：平成 26 年 8/26(火) ～ 8/28(木)

日程表：

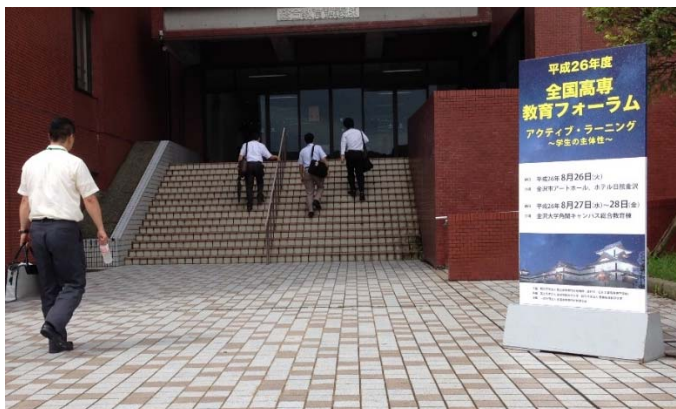
8/26	開会式	教員顕彰 受賞者講演	基調講演	学生取 組事例	パネル討論	情報 交換会
					教育研究活動発表会	
8/27	教育研究活動発表会			学生取組事例 ポスター発表	高専教育高度化ワー クショップ	
	高専女性教員のキャリア形成支援 ワークショップ					
8/28	教育研究活動発表会					

## 3. 平成 26 年度全国高専フォーラムポスター発表報告

第 1 技術班 茂木 貴之

全国高専教育フォーラムは、国公立高等専門学校・長岡技術科学大学及び豊橋技術科学大学の教職員が一堂に会し、教育研究の質の向上、教育方法の開発推進のための研究・事例の成果発表や意見交換を行うことにより、教職員の資質や高等専門学校の教育ポテンシャルの向上を目指すことを目的とし、8月26日から3日間、石川県の金沢大学で行われた。

今年度は、「技術職員による9年間のSPP事業実施報告と今後の理科教育支援」についてのポスター発表を行った。各高専においての出前実験に関する情報の収集や討論、その他学生実験などに関する情報の収集も行った。



#### 4. 平成 26 年度全国高専教育フォーラムに参加して

第 3 技術班 久保川 洋幸

平成 26 年 8 月 26 日～28 日の 3 日間、金沢市で行われた全国高専教育フォーラムに参加した。アクティブ・ラーニング～学生の主体性～をテーマにした内容で今後の学生指導に活かせるものとなった。基調講演では学生の可能性を引き出す事の重要性を感じた。講演された先生の話の中にあつた「何を教えたかではなく、何ができるようになったか」という言葉はこれからの教育に対しての柱となる物となった。教育研究活動発表では実習工場で起きたヒヤリハットを集計・考察し、対策した事や安全について発表した。他の高専でも安全については課題としている事が多いことも感じた。他の発表者の内容も非常に興味深く、学生教育への熱と力の大きさと事前準備の大切さを学ぶ事ができた。今後も技術職員として、座学では学べない部分を教える重要性を常に感じながらより良い授業ができるよう工夫を重ねていきたいと思う。



#### 5. 平成 26 年度全国高専教育フォーラム参加報告

第 1 技術班 白石 博 伸

本校 4 年生が 3 年生の実験・実習をチューターとしてサポートするという教育の効果について発表を行うことを主の目的として、同時に他高専の教育事例を聴講し情報収集を行うために参加した。成果発表では内容を上手に伝えることができなかつたために補足を求める質問や、負担増に繋がるのではないかとといった想定外の質問もあり、様々な意見を頂くことができた。説明力の大切さを学んだ発表であった。